

第29回防衛問題セミナー

テーマ：安全保障を考える！～日本周辺海空域における動向とわが国の防衛～

北海道防衛局は、平成27年1月29日（木）に札幌アспенホテルにおいて、「安全保障を考える！～日本周辺海空域における動向とわが国の防衛～」をテーマに防衛問題セミナーを開催しました。

冒頭、主催者である北海道防衛局長杉田宏一から、本セミナー等の場を通じて、防衛省・自衛隊の活動に対する御理解・御協力が得られるよう、防衛政策などについて丁寧な説明を心がけてまいりたい旨の開催挨拶を行いました。

講演は、防衛研究所地域研究部北東アジア研究室飯田将史主任研究官から「中国の海洋進出と日本の安全保障」と題し、中国の海洋進出の背景と狙い、安全保障秩序をめぐる米中の対立、東アジアの安全保障への影響などについて、海上自衛隊函館基地隊司令尾島義貴1等海佐から「海上自衛隊の現状と活動」と題し、海上自衛隊の組織・編成、主要装備品等、海上防衛力の意義・特性・役割、海上自衛隊の活動の概要と今後の展望について、それぞれ説明がなされました。

講演の後、「中国の海洋進出に伴い、具体的に自衛隊はこの後どういう行動をとり、彼らを阻止しようとしているのか。」との質問に対し、飯田主任研究官から、「南西方面でのプレゼンスを高めること、情報収集、監視能力を高めていくことが今の基本的な路線になってきている。」と答えるなど、活発な質疑応答がなされました。

会場には、開催地である札幌市のほか近隣市町村から大勢の方々が来場され、「わかっているようでわからない海洋権益を基とした中国の動向が良く理解できた。」、「日頃接点の少ない海上自衛隊の話が聞いて大変参考となった。」などの声が寄せられました。

当局では、今後も防衛問題セミナーなどを通じて、防衛政策や自衛隊の活動内容等について、多くの皆様に御理解を深めていただければと考えています。

主催者挨拶



北海道防衛局 杉田局長

講演者



防衛研究所 地域研究部北東アジア研究室
飯田将史 主任研究官

海上自衛隊函館基地隊司令
尾島義貴 1等海佐

セミナー会場の様子

